



保育のしおり



いわき市立保育所



◇はじめに◇

保育所(園)は、児童福祉法に基づき保育が必要な乳幼児の保育を行い、その健全な心身の発達を目的とする児童福祉施設です。

保育所(園)は、すべての子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、
「子どもの最善の利益と、福祉の増進を図る」という保育理念の下に家庭と保育所(園)が、それぞれの役割を十分認め合い、お互いの理解と信頼のもと保育を進めていきます。

◇こんな子どもに育ってほしい◇

～いわきの子～

○自分の気持ちと体を大切にする子ども

○友だちを大切にする子ども

○自分で考え行動する子ども

○人の気持ちに気付く子ども

○豊かに感じ表現する子ども



◇保育の方針◇

いわき市立保育所は

子どもと子どもに関わるすべての人を大切にします。

～子どもの最善の利益を守るために、専門性を有する保育士等が、家庭との緊密な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、養護と教育を一体的に行います～

- ・子ども一人一人が、認められ、大人に愛され、成長を共に実感できる保育所。
- ・子どもと保育士等が共に毎日の保育を作りだし、それによって子どもたちが思う存分力を発揮できる保育所。
- ・あたたかいまなざしと、あたたかいことばにあふれた保育所。
- ・安心安全を基本として、自ら伸びる力を大切にする保育所。
- ・子ども、保護者、保育士等が信頼しあい、共に育ち、育て、育ち合う保育所。
- ・地域の中で人々と共に生き、育まれる保育所。

◇保育所の社会的責任◇

1. 保育所は、子どもの人権に十分配慮するとともに、こども一人一人の人格を尊重して保育を行わなければならない。
2. 保育所は、地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に、当該保育所が行う保育の内容を適切に説明するように努めなくてはならない。
3. 保育所は入所する子ども等の個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、その解決を図るように努めなくてはならない。

◇保育所(園)の一日◇

[0・1・2歳児]

[3・4・5歳児]

保育開始

7:15

保育開始

～順次登所～

異年齢児の合同保育

組別の保育開始

8:30

組別の保育開始

室内外での自由な遊び



おやつ
遊び

9:30

朝の集い
組別の活動

10:00

遊びや組別の活動、異年齢の交流、全体集会、行事等

給食

11:30

午睡

12:30

給食

休息、午睡
組別の活動



おやつ

15:00

おやつ

室内外での自由な遊び

～順次降所～

17:00

異年齢児の合同保育

保育終了

18:15

保育終了



※保育時間については、4ページをご参照ください。

◇保育時間について◇

1 開所時間	(標準時間) 平日 午前7時15分～午後6時15分 土曜 午前7時15分～午後1時 (短時間) 平日 午前8時45分～午後4時45分 土曜 午前8時45分～正午 *白土・古湊・本町・泉・錦保育所は平日に同じ
2 短時間認定利用の時間外保育時間	平日 午前7時15分～午前8時45分 午後4時45分～午後6時15分 土曜 午前7時15分～午前8時45分／正午～午後1時 *白土・古湊・本町・泉・錦保育所は平日に同じ
3 休 日	日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

※欠席や遅れて登所する場合は、午前9時までにご連絡ください。

◇送迎について◇

1. 送迎の際は、安全のため、チャイルドシートを着用しましょう。
2. 誘拐や交通事故から幼児を守るために、保護者または、あらかじめ定められた方以外が送迎する際には、事前にお知らせください。
3. 駐車の際は、周囲の交通の妨げにならないよう注意しましょう。また、車を離れるときは必ずエンジンを切って施錠しましょう。

◇持ち物等について◇

1. 持ち物・衣類などすべてに名前を記入してください。
2. 連絡帳は、カバンに入れて毎日持たせてください。
3. 衣類や持ち物等は清潔にしましょう。
4. おもちゃや危険なものは、持たせないでください。
5. 集金は、定められた期日までに納めてください。



◇生活習慣について◇

1. 朝食は一日の活力源です。毎朝きちんと食べさせましょう。
2. 歯磨き、うがい、手洗いの習慣を身につけさせましょう。
3. 早寝、早起きの習慣を身につけさせましょう。
4. 登所(園)の前に、排便する習慣を身につけさせましょう。
5. 日ごろから、薄着の習慣をつけるように心がけましょう。
6. 活動しやすく足に合った靴をはかせましょう。



◇病気について◇

1. 昨夜熱があったとか、ご家庭でけがをしたなど、健康上に変わったことがあれば、登所(園)の際に必ずお知らせください。

- ① 発熱
- ② 嘔吐、下痢
- ③ 機嫌が悪い、元気がなく顔色が悪い
- ④ 通院した場合は病院名、病名と症状



2. 保育中に体調が悪くなった時は、早めにお知らせいたします。
全身症状を見て、高熱でなくてもご連絡する場合がありますのでご了承ください。
あらかじめ、勤務先にも緊急の呼び出しの了解を得ておくとうよいでしょう。
3. 持病のあるお子さんについては、入所の際にお知らせください。
(アレルギー、けいれん、心臓病、喘息、脱臼など)
4. 保育所(園)では乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発生や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

保育所入所児がよくかかる感染症については、次の「乳幼児がかかりやすい主な感染症」一覧の“登所のめやす”を参考に、かかりつけの医師の診断にしたがい、保育所での集団生活に適應できる状態に回復してから登所するようご配慮ください。

また、病院にかかる際には、保育所に入所している事を医師に伝えておくとうよいでしょう。

「乳幼児がかかりやすい主な感染症」 * 「保育所における感染症対策ガイドライン（厚生労働省）」より抜粋

感染症名	感染しやすい期間	登所のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前 24 時間から発症後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日を経過するまで（乳幼児にあっては、3 日を経過するまで）
新型コロナウイルス感染症	発症 2 日前から発症後 7～10 日間	発症した後 5 日を経過し、かつ症状が軽快した後 1 日を経過するまで
風しん	発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現 1～2 日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺膨張後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫張が発現してから 5 日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜炎（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111 等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（リンゴ病）	発しん出現前の 1 週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後 1 週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に 1 か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RS ウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

—上記以外の感染症につきましては、かかりつけの医師の指示に従ってください。—

くすりの服用について

主治医より処方されたくすりは、本来その保護者が医師の指示のもとに与えるべきものですが、やむを得ない事情で日中保護者が飲ませることができない場合に限り、服薬依頼書にお薬の説明書を添付の上、処方されたお薬のみをお預かりします。

- ・服薬依頼書と処方箋は、1日ごとに提出することになっています。
 - ・長期間継続して飲まなければならない薬や塗り薬の場合は、ご相談ください。
 - ・保護者の個人的な判断で持参した薬については、対応できません。
- ※ただし、てんかん発作により処方された座薬については、ご相談ください。

見 本

お薬と薬の説明書をこの様式と一緒に保育所にお渡しください。



服 薬 依 頼 書

保育所(園)長 様

令和 年 月 日

〔依頼者〕

保護者氏名

組・なまえ	組				
病 名 (または具体的な症状)					
主治医 (処方医)	_____先生 (_____病院・医院)				
服薬時間	食 前	食 後	食 間		
薬の内容	_____月_____日に処方された_____日分の本日分				
	粉薬	水薬	錠剤	顆粒	外用薬
<small>※外用薬は1日3回以上使用指示のもののみ</small>					
症 状 (家庭での様子) 朝の体温: _____度 朝食 : 食べた 食べていない その他:					
◆注意事項◆ 1. 服薬は、医師の指示による薬を日中飲ませなければならない場合に限りです。 (ただし、保護者の個人的な判断で持参した薬については対応いたしません。) 2. 薬は、1回分にひらがなでお子さまの名前を記入して持参してください。 3. 必要事項の記入がない場合は、対応できないこともあります。					
保育所 記載欄 (サイン)	受 領 者		投 与 者		特記事項
					所 長

◇給食について◇

保育所(園)では、各施設において、調理した給食を提供しております。子どもの心身の健やかな発育のために必要な栄養量を確保するとともに、望ましい食習慣を身につけることを目標としています。

乳幼児期は、消化・吸収、排泄機能が未熟であるため、その発達に応じた食事が必要であるとともに、発育・発達のため十分なエネルギーや栄養素も必要となってきます。



〈栄養量について〉

保育所(園)では、次の「栄養給与目標量」に基づいて献立を作成し、1歳から2歳と、3歳から5歳の2つに区分して給食を行っています。(他に、乳児保育実施施設では離乳食を行っています。)

※ 食物アレルギー等や食事で心配な事がある場合はご相談ください。ご家庭と連携して対応しています。

栄養給与目標量

区分	エネルギー Kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミン			
						A μg	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg
3歳未満児	480	20	16	225	2.3	200	0.25	0.30	18
3歳以上児	400	20	20	270	2.2	225	0.30	0.35	18

- ・ 3歳未満児は、完全給食（主食、おかず、おやつ）を実施しています。
- ・ 3歳以上児は、副食給食（おかず、おやつ）を実施し、主食はご家庭より持参していただいています。
- ・ 保育所(園)の食事は、日常不足しやすいカルシウム、鉄、ビタミン類等を含め、エネルギー、タンパク質など、それぞれ1日の栄養所要量の約50%を目標としています。

〈給食の内容について〉

保育所(園)では、毎月、ご家庭に予定献立表を配付し、内容をお知らせします。

- ・ サイクルメニューを取り入れて、食べ慣れないものや、苦手な食べ物にも挑戦する機会をつくるようにしています。
- ・ 献立は、児童のし好を考慮し、季節感を取り入れ、多様な種類の食品を取り入れるように努めています。
- ・ 味覚の基礎が形成される時期なので、薄味に調理するようにしています。
薄味の食事は、小児期からの生活習慣病予防のためにも重要です。
- ・ 楽しい食事環境作りを心がけています。
食器類も、児童の好みに合った楽しい雰囲気のものを使用しています。

〈食育の推進について〉

保育所(園)では、次の目標と内容に基づき、保育所ごとに食育の計画を策定し、食育の推進に取り組んでいます。

【3つの目標】

- ・ 元気な体と豊かな心を育てる
- ・ 食を通じて、いのちの尊さを知る
- ・ 食の体験を通し、食べる喜びを知る



【内容】

- ・ 食を通して健康に興味を持ち、食べ物に感謝しておいしく食べる
- ・ 食べ物の育ちを感じ、すべてのいのちを大切にする力を養う
- ・ たくさんの人によって作られた食物の大切さ、本当の味を感じ、感謝の気持ちを持つ
- ・ 栽培や調理を通し、一緒に食べる楽しさを味わう
- ・ 食事のマナーと、良い食習慣を身につける

◇保育所児童保育要録について◇

国の保育指針に基づき、お子さんの育ちを支えるための資料として「保育所児童保育要録」を作成し、小学校就学前に各小学校へ送付します。

◇利用者負担の納付について◇

口座振替による納付が原則となりますので、保育所(園)で申込用紙を受取り、金融機関で手続きをしてください。口座振替の申込みをしていない場合、納付書により金融機関で（ゆうちょ銀行除く）納付期限までにお納めください。

※納付期限は、毎月 25 日（但し、25 日が土・日曜日及び祝日の場合は、その翌日以降最初の平日が納付期限となります。）で、原則としていわき市指定金融機関、または、ゆうちょ銀行（郵便局）の口座振替となります。

◇その他◇

次のような時は、保育所(園)に連絡してください。

1. 住所、家族構成、勤務先、勤務時間、電話番号等が変わったとき。
2. 長期に休むとき（在籍中は、保育料を納めていただきます）。
3. 退所(園)を希望するとき。
4. 家庭で保育ができるようになったとき。



◇育児支援の事業について◇

休日保育

仕事などの理由により、日曜・祝日にご家庭で保育できない場合に利用できます。

※申込みなどのお問い合わせについて

○綴保育所への申し込みとお問い合わせは、内郷・好間・三和地区保健福祉センター福祉介護係（27-8691）へ。

○いわき・さくらんぼ保育園（58-5616）及び大倉保育園（62-4306）は、直接保育園へ。

病児・病後児保育

病気回復期のお子さん（回復期に至らないが症状が安定している方を含む）を集団保育が可能となるまで、医療機関に併設された施設で保育します。

※詳しくは、実施施設または、各地区保健福祉センターへ。

- おおはらこどもクリニック病児・病後児保育室（63-0001）
- 常磐病院 病児・病後児保育室（81-5522 もしくは 81-2525）
- 須田医院 病児・病後児保育室（27-6060）
- 洋向台クリニック 病児・病後児保育室（55-5150）

ファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助をして欲しい方（依頼会員）と援助を行いたい方（協力会員）、依頼会員・協力会員の両方を兼ねる方（両方会員）からなる会員組織を設置し、会員の相互援助活動を支援する事業で、保育所への送迎や、保育施設終了後の援助等を会員同士で行っています。

○いわき市ファミリー・サポート・センター事務局 43-0813

病児・緊急対応強化事業

子育ての援助をして欲しい方（依頼会員）と援助を行いたい方（協力会員）、依頼会員・協力会員の両方を兼ねる方（両方会員）からなる会員組織を設置し、会員の相互援助活動を支援する事業で、病児・病後児の預かり、宿泊を伴う子どもの預かり等を会員同士で行っています。

○いわき緊急サポートセンター 問合せ：080-6055-1099
申込み：080-9011-9930

◇育児情報◇ いわきネウボラ おや CoCo 窓口

主に妊娠している方、子育て中の方、いわき市で子育てを考えている方に家庭の状況に応じた施設やサービスをご案内します。

おや CoCo は子育て最初の窓口です。

各地区保健福祉センターの子育てコンシェルジュまでお問い合わせください。